

## 2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [ 星槎国際高等学校 ] 担当教諭名 [ 吉田真由美・木谷まどか ] ( 1・2・3年 有志 22名 )  
 交流相手国 [ タイ ]  
 海外学校名 [ Plearnpasa Language School ] 担当教諭名 [ Somrat Bureerat ]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	英語	自己紹介	6
	特別活動	アートマイルプロジェクト	14
	選択美術	タイの絵を描こう	20

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Hold each other in high regard
絵に込めたメッセージ	交流を通して、相手のことを深く考えるようになった。 お互いに尊重しあう気持ちが伝わるように描いた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外に興味をもつようになり、自分達の国についてもっと知るようになった。</li> <li>半年間かけてきたことが、一枚の絵になって完成することで、生徒たちに達成感をもたらした。</li> <li>学校内の取り組みが、社会とつながることでより大切なことや足りないことが明確になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語に対するコンプレックスがあり、速やかな連絡が取れなかった。</li> <li>活動報告を怠った。相手に対しても、自分達の生徒にも情報発信が少なかったため、取り組みの成果を十分に伝え切れなかった。</li> </ul>

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスブックのURLを先生方にメールで送った。</li> <li>絵とそれに関する掲示物を作成し、教室に展示した。またタイからのお土産も一緒に並べた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それまでは何かやっている程度の認識であったが、外務省・文部科学省後援事業のアートマイル公式のフェイスブックに星槎の記事が挙げられたことで、先生方の評価が上がった。</li> <li>他の生徒や保護者にも活動内容を知ってもらうことができた。生徒一人ひとりがお土産を手にとり喜んで見ている。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語での自己紹介を各自作成し、掲示板に書き込む</li> <li>ネイティブ講師による英会話授業(動画等の交流に向けて準備)</li> </ul>	英語での自己紹介文の作成には苦戦していたが、好きなこと、将来の夢などそれぞれの書きたい内容が見つかる懸念に取り組んでいた。	英語6
情報収集	9月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の自己紹介の返事を書く</li> <li>自国(横浜)についての調べ学習</li> <li>流行などについての情報交換</li> <li>お互いに自国の食文化をクイズ形式で紹介(動画の利用)</li> </ul>	自分宛に届いたメッセージに生徒は喜んでいました。横浜について、意外と知らないことが多く、調べるごとに新しい発見をしていました。食文化クイズは、調理の工程をどのように英語に直すかを相談しあいながら取り組んでいた。	地理4 英語4
テーマ検討	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵のテーマとレイアウトの話し合い</li> </ul>	相手校から先に絵のレイアウト案が送られてきたので、それを元に内容を深めた。テーマ案も掲示板を用いてやり取りし、お互いの納得いくものに決定した。	英語2 美術2
制作	12月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵の制作</li> </ul>	描く場所を分担して下書きを描くことができた。絵の具で塗る作業は絵の得意な生徒を中心に下絵を描き、多くの生徒の手によって色ぬりをした。どの生徒も楽しそうに作業していた。	美術18
鑑賞	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同制作した絵の鑑賞</li> </ul>	お互いの国を交換して描いたので、予想通りのモチーフと予想外のものを見つけて鑑賞を楽しんだ。	総合2

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	2	5・4・③・2・1	自分の国について興味をもっていなかったことに気付けた。自信をもって伝えられることをもっと増やしたかった。
異文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	仏教を信仰する尊さを感じた。環境は違ってもファッションやゲームなどの共通点を見つけることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	4	5・4・③・2・1	直接会話することはできなかったが、相手のことを考えてメッセージを送ったり、絵を描いたりする喜びを感じた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	5	5・④・3・2・1	動画でクッキングクイズを出し合い、新しい取り組みができた。お互い単発の発信を繰り返す傾向が見られた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)		5・4・3・②・1	生徒間よりも相手校の先生との関係づくりが足りなかった。生徒は相手の反応をととても喜んでいました。
協働する力 (役割分担・協力)		5・④・3・2・1	学年によって登校日が異なり、活動日を合わせることに苦労したが、それぞれの個性を生かした役割分担ができた。
学習を追究する意欲	3	5・④・3・2・1	生徒のやってみようという気持ちを尊重したので、生徒から色々な意見が出た。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		⑤・4・3・2・1	事前にテーマにあったキーワードやメインカラーを話し合いで決めたので、全員が共通のイメージで取り組めた。
作品を鑑賞する力		⑤・4・3・2・1	日本側の絵に合わせて描かれた部分が多かったため、生徒達はつながりを強く感じる事ができた。